

大学コンソーシアム富山 令和9年度地域課題解決事業申請書

(新規・継続)

自治体等名	富山市	担当者	所属 企画管理部企画調整課 地域政策係 氏名 土田 TEL 076-443-2277 E-mail kikakutyosei-01@city.toyama.lg.jp		
地域課題名	富山市内の若い世代や女性の定住促進施策の検討		事業費	(未定) 円	
地域課題の背景	人口減少・少子化が進行する中で、現時点で、特に取り組みが弱い「若者や女性の定住促進」に向けて効果的な施策や事業の検討を行っている。 「定着促進」には3つの経路、①富山に生まれ育ちそのまま住み続ける若者や女性（残留層）、②一度県外に出てまた自然に戻ってくる若者や女性（遡上候補層）、③県外出身で大学生として富山に進学し、卒業後もそのまま居着く若者や女性（定着候補層）がある。 特に大学において実態をつかみやすい③（県内大学に在学中の学生）は、卒業と同時に多くが県外へ転出してしまう層であり、この層の声を調査、把握し、この層に訴求できる施策を検討したい。				
課題の概要 (できるだけ具体的に)	(1)課題＝解決したい問題の説明 「若者がこの地域に居たい、戻りたい、残りたいと感じる条件」やそれが生まれる要因分析がされていない。これまでの施策は「呼びかけ」や、補助制度に偏りがちで、本人が自然に「ここに残りたい」と感じる関係性・体験・タイミングがどのように育つのかという、当事者の分析が不足している。 (2) その課題解決において自治体に取り組めること ・ 既存の人口、移住関連データの提供 ・ 調査の中間段階・最終段階における意見交換の場の設定（企画調整課担当者が同席し、行政施策との接続を検討） ・ 調査結果を踏まえた政策反映（大学連携施策・移住定住施策の見直し検討への反映） (3) 高等教育機関に求めたいこと 【調査・分析】 ・ ③定着候補層を対象としたアンケート・インタビュー調査の実施 ・ ③定着候補層で定着する者、しない者を分ける行動パターンの分析など、独自の分析 ・ 在学中の体験（地域との接点、アルバイト・インターン、友人関				

	係等)のうち、何が定着意欲に結びつくかの分析 ・ 先行学術論文等により富山市にとって有効かつ効果的と思われる研究結果等をエビデンスとして活用 【提言】 ・ 調査分析の結果を踏まえた、行政施策への具体的な提言のとりまとめ
事業実施に当たっての協働体制	【自治体等の役割】 企画調整課地域政策係を窓口とし、調査設計時・中間報告時・最終報告時の計3回程度、高等教育機関(提案者)と打合せを実施する。 【高等教育機関の役割】 高等教育機関は調査の設計・実施・分析・提言のとりまとめを担う。
成果の活用方法	調査・提言の内容を、市が進める施策の企画・見直しに反映する。

【作成上の注意】

- 1 「事業費」欄は、高等教育機関に対し支出する金額を記入願います。(概算額や上限額でも可)。なお、申請の段階で事業費の積算が難しい場合は、未定(協議の上決定)と記載ください。
(自治体等からの事業費が、本事業実施経費の全額となります。)
- 2 課題に関する詳細資料(秘密事項は除く)がある場合は、添付願います。
- 3 課題が複数ある場合は、別葉に記載願います。
- 4 申請書は1ページに収める必要はありません。できるだけ具体的に記入願います。